

基本モジュール



バックアップ

バックアップの役割

バックアップとは NBS データの退避のことです。退避先は SD カード、CD・DVD、USB メモリまたは外付けハードディスクなどシステムにより異なります。不慮の事故に備えて最新情報を毎日退避させます。

SD カード、CD・DVD、USB メモリとは取り外し可能な大容量記憶装置であり 650MB～2TB などあります。

弊社のソーラーサーバーを使用されている場合はソーラーサーバー上に退避させます。

◎圧縮バックアップとは

メンテナンス用のバックアップです。通常は「バックアップ」処理を使用するため、説明は省略します。操作方法は実際に簡単で、バックアップアイコンボタンを押すことにより自動的に、保存に必要なデータが退避されます。



基本モジュール



操作説明

1. バックアップファイル名の指定

バックアップ処理を行う際に、ファイル名を3通りに管理することができます。

◎バックアップファイル名を任意に指定する場合

システム既定のファイル名に捉われることなく、全角16文字(半角英数32文字)以内で任意のファイル名を指定可能です。

◎既定のバックアップファイル名を指定する場合

データベースバックアップ処理を開いた時点で表示されるファイル名は、処理を起動させた際のシステム日時に準じています。

＜例＞ 2018/04/25 17:00 起動

→ファイル名:N180425_1700.BAK(もしくは N180425_1700.LZH)となります。

◎日時のないファイル名を自動で設定したい場合

ファイル名はシステム既定で常にNbsDat.LZH(もしくはNbsDat.BAK)と表示されます。

古いデータを残さず、常に新しいデータに上書きする日々のバックアップの際に有効となります。

開始ボタンを押して表示されるメッセージで「いいえ」を押すと、自動的にバックアップファイル名が変更されます。

2. **開始**ボタン

データのバックアップを行います。

「はい(Y)」を選択すると規定のバックアップファイル名、または設定したファイル名でバックアップされます。

「いいえ(N)」を選択するとNbsDat.LZH(もしくはNbsDat.BAK)でバックアップされます。

「キャンセル」はこのデータバックアップ作業を中止します。

「はい(Y)」「いいえ(N)」を押すと、バックアップが実行されます。

※データによっては時間が掛る場合があります。

3. **終了**ボタン

データベースバックアップを終了します。